

阪和興業 中期経営計画の進捗状況

(1) 定量目標に対する実績

計 画 期 間		2016年度から2019年度							(ご参考)
		2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	2019年度 第1四半期		2020年度 (目標)	
						(実績)	(進捗率)		
業 績 目 標	売 上 高 (億円)	15,140	17,911	20,746	22,000	4,724	21.5%	24,000	
	経 常 利 益 (億円)	① STEADY	191	201	188	205	51	25.0%	220
		② SPEEDY	31	58	43	70	10	14.4%	80
		小 計	222	260	232	275	61	22.3%	300
		③ STRATEGIC	7	△ 6	0	5	2	40.3%	10
		調整額	0	0	0	-	0	-	-
連結財務諸表計上額	229	255	233	280	64	23.0%	310		
新規ユーザー獲得社数 (累 計)		697	601	725	677	167	24.7%		
		(697)	(1,298)	(2,023)	(2,700)	(2,190)	(81.1%)		
投資総額 (億円) (累 計)		112	291	170		21			
		(112)	(403)	(573)	(500)	(594)	(118.8%)		

※① STEADY… 既存の事業基盤からの収益

(当社会社及び③に該当する戦略的投資先からの受取配当金を控除した当社単体の経常利益)

② SPEEDY… 投資したグループ会社からの収益

(当社連結子会社の経常利益、非連結子会社からの受取配当金及び持分法投資損益 (③に該当する戦略的投資対象会社分を除く))

③ STRATEGIC… 戦略的投資からの追加収益

(金属資源を中心とする戦略的投資先からの持分法投資損益及び受取配当金)

(2) 進捗状況

2019年度第1四半期決算における当社グループの経常利益の通期予想に対する達成度は23.0%となりました。このうち①STEADY及び②SPEEDYからなるグループ収益の達成度は22.3%、また資源投資からの収益である③STRATEGICの達成度は40.3%となりました。3つの「S」それぞれの状況は、以下のとおりです。

- ① STEADYについては、各素材分野において需要が弱含むなか、当社の取扱数量も総じて減少傾向にはありましたが、利益率の高い取引の確保や一部の商材において採算性の改善が図られたことなどから計画どおりの進捗となりました。
- ② SPEEDYについては、「そこか」事業を中心とした国内グループ会社が鋼材需要の低迷を受けて利幅を縮小したほか、海外においては米中貿易摩擦の影響などから鉄鋼や非鉄金属類の取扱数量を減らしたことなどにより、標準進捗率(25%)を下回りました。
- ③ STRATEGICについては、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD.からの持分法投資損益は、フェロクロム市況の低迷や電力費用の高騰などに伴う生産コストの上昇により損失となりましたが、青山控股集団をはじめ戦略的投資先からの受取配当金の受領により、全体としては利益を確保し標準進捗率を上回りました。

(注) 上記の定量目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって目標数値と異なる場合があります。特に③STRATEGICについては、今後の資源価格や為替などの動向により、変動する可能性があります。

以 上